



## レスリングどんたく2017とタバコ 大和 浩

毎年5月3日は福岡国際センターで新日本プロレスを観戦します。今年のメインイベントは第65代IWGPヘビー級王者、プロレス界にカネの雨を降らす男、レインメーカー、オカダ・カズチカV.S.怪物バッドラック・ファレでした。最後はオカダがジャーマンからのレインメーカーで巨体をなぎ倒して激勝。一緒に観戦した研修医と助教も大興奮でした。

昨年2月、インターネット配信で試合が見放題となる新日本プロレスワールドの会員になりました。仕事の後、研究室の自転車エルゴメーターのハンドルの上にパソコンを置いて、東京ドームや両国国技館のビッグマッチを第1試合からノーカットで観ています。テレビ中継では放映されない試合後のマイクの応酬もすべて観られるので、面白さ倍増です。試合を観る＝運動する、なのでストレス解消と体力維持になります。おまけに毎月999円という安さです。

本題は、福岡国際センターのタバコ対策です。以前はロビーに灰皿があり、臭くて大変でした。2010年頃、1階ロビーに喫煙室ができましたが、試合前や休憩時間は喫煙が集中するため、中の空気は白く濁り、吸う人が気の毒になるようなガス室状態でした。おまけに人の出入りが激しく、かな



ベルトを防衛、レインメーカーポーズを決めるオカダ

り漏れていました（それ以前よりはずっとマシでしたが）。きっと、吸う人からも吸わない人からも苦情があったのだと思いますが、2011年に観戦した時には撤去されて自販機コーナーになっていました。今は、2階の廊下から屋外に出たテラスが喫煙場所です。産業医学的には、ガス室の中で灰皿を清掃する業者の職業的な受動喫煙が解消されたことが重要です。喫煙する人にとっても青空の下の方が快適なはず。清掃業者と喫煙者のために、灰皿はどんどん屋外に出しましょう。



2010年まであった喫煙室



2階テラスに移動した喫煙コーナー